

平成28年度 地域懇談会（本庁管内） 記録	
日 時	平成29年1月23日（月） 午後7時から8時15分まで
場 所	消防拠点施設 講堂
出席人数	（1）市民 20人 （2）事務局 教育長、教育部長、学務課課長、適正配置推進室職員 計25人
内 容	（1）学校の適正配置について （2）意見交換
事務局説明	（1）資料1について （2）小中学校適正規模に関する意識調査（途中集計）について [資料なし] （3）日立市学校教育振興プランについて
意見交換	<p>（ 質 問 ） 「地域の特性等を踏まえて」とあるが、「地域の特性」とはどのようなものと考えているか。</p> <p>（ 事務局 ） 都市部、山間部といった地理的な状況などがある。一律に数で考えるのではなく、いろいろな事情を勘案していきたいということである。</p> <p>（ 質 問 ） アンケートの集計の中で、教職員の回収率が低い理由は何か。関心がないのか。</p> <p>（ 事務局 ） 調査実施の時期が学期末と重なって、教職員には負担だったかもしれない。現在も入力作業中であるため、今後、結果は変わってくると思われる。</p> <p>（ 意 見 ） 基本方針などの市のビジョンが見えてこない、質問もできないし意見も言えない。検討委員会なり、連絡調整会議なりの内容を公表してほしい。</p> <p>（ 事務局 ） （学校適正配置の）検討に着手したことをお知らせすることが、今回の懇談会の趣旨である。市のビジョンはこれからである。今後は、素案ができた時点で懇談会を行いたい。各方面からの意見を伺いながらまとめていきたいと考えているのでご理解いただきたい。</p> <p>（ 質 問 ） 学校を統廃合して余剰となった予算は、教育の中身に回すことが前提か。少人数指導や障害を持つ子どもたちへの対応など、きめ細かな教育に向けるべきだと考える。</p> <p>（ 事務局 ） 予算については、（学校の）小規模化が進むことでロスが生じる部分もあ</p>

る。そのようなところは、精査していく必要もあると考えている。その分を教育の充実に充てていくことは、努力していきたい。

(意 見)

検討の前提として、クラス替えができないなど横のつながりのことが主になっているように聞こえるが、縦割り活動などを学校教育に取り入れていくことが必要だ。上級生が下級生の面倒を見る、下級生が上級生を敬うということが自然に学べ、身につく。子が親を殺してしまうようなことが起こらなくなる。

(事務局)

縦割り活動などは、実践している学校もある。同学年での教育活動は基本的なことであるので重視している。

(意 見)

学校教育振興プランにも少子化対策や人口の流出防止の施策を取り入れるべきだ。日立市には大学もあり教育に関する地域のポテンシャルが高い。小-中-高-大と連携させていけば、大学進学で東京へ行ってしまうことも少なくなる。

(事務局)

少子化対策や人口流出対策は、(効果が見えにくい)が) 様々に展開している。貴重なご意見をいただきありがとうございます。

(意 見)

小学校区とコミュニティは一体なので、学校の統合によって地域活動がやりにくくならないように考えてほしい。

(事務局)

検討委員会の中でも同様の意見が出ている。コミュニティとの関わりも念頭に置いて検討していきたい。

(教育部長)

前回の国体を契機に、小学校区とコミュニティ活動エリアが一致していることが本市の特長でもあるので、学校の統合ということになると、様々な課題があることは理解している。

検討委員会などでも、委員自身の子も時代を基準に「適正な規模」をイメージしている。子どもたちには学力の向上も大切だが、学習以外のことも学校教育では重要で、社会に出て生きていくために必要になる様々な力は、ある程度の規模がないと育っていかないと感じている。

(質 問)

統合の結論を出すタイムスケジュールを教えてください。

(事務局)

30年度末(平成31年3月)に計画ができあがるが、その中には、向こう10年程度の計画を盛り込んでいきたいと考えている。

(質 問)

自分の子どもは小学校低学年で、33人位の学級(上限ぎりぎりの人数)である。クラス規模の下限はあるのか。

(事務局)

クラスの規模は、茨城県においては、小学1、2年生は35人で1学級、小学3～中学3年生は40人で1学級となっている。下限としては、連続する2学年で16人に満たない場合は複式学級となる。小学1年生の場合は8人までは複式学級(9人以上で1学級)となる。

小学3年生以上では、35人を超えると担任以外の教員(非常勤講師)が1人配置されたり、35人を超える学級が3学級以上になると学級を増設できるといった制度もある。

(質 問)

コミュニティの役員をしているが、どのような立場で発言をすればいいのか。コミュニティの総意ということであれば、持ち帰って協議する必要がある。

(事務局)

基本方針や適正配置計画の素案の段階で、地域懇談会やパブリックコメントを行う予定であるので、そのような機会にご意見を伺いたい。また、検討委員会には、コミュニティ推進協議会からも委員として出席していただいているので、ご意見を伺っていきたい。

(教育長)

学校の適正配置を考えるに当たっては、(行政で把握していない)地域情報が重要になる場合がある。そのような地域情報を、ぜひ教えてほしい。